

FAX 0598-42-8078  
 みえ市民活動ボランティアセンター気付 私書箱4号  
 川づくり会議みえ 宛

FAX 059-222-5971

## 川づくり会議みえ【入会申込書】

下記に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。会費は、お手数ですが、下記振込先へお振込ください。(振込手数料は申し訳ありませんがご負担ください。)会費の振込確認をもって会員登録させていただきます。

### 【申込書の送付先】

郵便の場合は、宛先を下記のようにご記入ください。

〒514-0009 津市羽所町700アスト津3階  
 みえ市民活動ボランティアセンター気付私書箱4号 川づくり会議みえ 宛

FAXの場合は、この用紙のまま返信ください。(FAX0598-42-8078)

eメールの場合は、[kuze2@bronze.ocn.ne.jp](mailto:kuze2@bronze.ocn.ne.jp) 迄、下記内容を送信して下さい。

- 【会員種別】 個人会員 1,000円/年(但し、学生は会費免除)  
 団体会員 3,000円/年  
 賛助会員 1口10,000円以上

- 【会費振込先】 百五銀行・津駅西口支店・普通・283675・川づくり会議みえ  
 郵便振替口座・00860-6-87445・川づくり会議みえ

お名前	記入日：平成 年 月 日		
	団体会員の方は団体名と担当者名を記入		
ふりがな			
所属団体	学生は学校名・専攻を記入		
ご住所	〒 郵便物等の送付先住所を記入		
連絡先	TEL ( )	FAX ( )	
メールアドレス	基本的に各種の連絡をメールにて発信します。アドレスをお持ちの方は記入ください。		
会員種別	個人会員	団体会員	学生会員 賛助会員
連絡事項	事務局への連絡事項など記入ください。		
領収書	必要あり(宛名 )	必要なし	発行NO.

事務記入欄

みんなが遊べる魅力ある川づくりをめざして

# 川づくり会議みえ

ごあんない

川づくり会議みえ へようこそ。

かつて三重には美しく、豊かな山、川、海があり、それらが人々に様々な恩恵をもたらしてきました。とりわけ「川」は流域に暮らす人々にとって、身近な自然であり、命の根源そのものでした。時には氾濫することもある、人々は畏敬の念をもって「川」に向き合っていたことが流域各地に残る「水神信仰」や「禊ぎの儀式」からわかります。

いま、「川」を意識して暮らす人々はそれほど多くはないでしょう。しかし、今も私たちは「川」から計り知れないほど多くの恵みを受け続けていることを忘れてはなりません。

また、「川」は「物質の循環」を司るだけでなく、「生命の循環」という大切な役割を果たしてきました。さらに、「川」は、子どもたちを健康に、健全に育むための「自然の学校」であったことも忘れてはなりません。

私たちはこの50年あまり、水を「資源」と考えて、川から取れるだけ水を取り、川に排水を流し、川をコンクリートで固めて、豊かに、便利に、安全に暮らすことのみを求めて過ごしてきました。その結果、人々から川が遠ざかり、それにつれて、ますます川はその姿を変えていきました。

私たちは、「断ち切られた循環」「人と川とのつながり」「生き物の多様性」などを、立場を超えた交流、連携、協働により回復し、真の「共生社会」を実現したいと願って聚まりました。

「川づくり会議みえ」とは...

## 【目的】

「川づくり会議みえ」は、三重県において、自然豊かで子どもが遊べる「魅力ある川づくり」を実現するため、河川流域を含む水環境の再生に取り組んでいる市民団体等の交流と連携を図り、山～川～海、環境創造、社会教育、市民活動などに関わる行政と協働するとともに、ひろく県民、住民組織、企業などがこれに参加できる機会や場を創ることを目的として設立するものです。

## 【事業】

「川づくり会議みえ」は、目的の実現を目指して次のような事業を進めます。

- (1) 魅力ある川、すなわち自然豊かで美しい川の再生・創造を図り、それを次世代に受け継ぐ活動
- (2) 子ども達が川に親しみ、学ぶための活動
- (3) 本来の川の生態系の維持・回復を図るための研究と実践活動
- (4) 住民・住民組織・行政、企業、研究者相互の交流・連携・協働を進める活動
- (5) 河川流域を含む水環境に関わる人材と団体のネットワークのための活動
- (6) 研修会・講演会・シンポジウムなどの開催
- (7) 機関紙の発行などによる情報発信
- (8) 全国・海外の住民・住民組織・行政・研究者との交流
- (9) その他この会の目的を達成するために必要な事業

註1. 営利的、宗教的、政治的活動は行いません。